

1 宇部市ってどんなまちだろうか

(1) 宇部市ってどんなところ？

「宇部市ってどんなところ？」と他の町の人に聞かれたら、あなたなら何と答えますか。「彫刻の町」「緑と花が多い町」ですか。あるいは「山口県で三番目に人口が多い町」でしょうか。

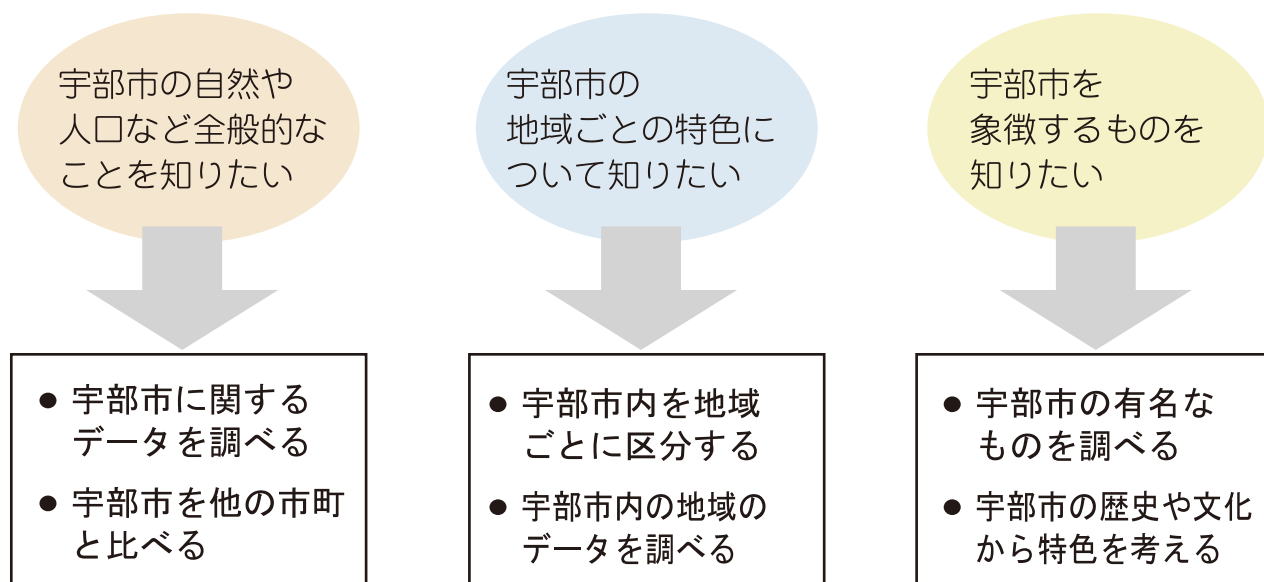
「お年寄りが多い町」と答える人がいるかもしれません。つまり、みなさんはすでに何となく宇部市についてのイメージを持っています。これからの学習でそのイメージが広がったり、変わったりするでしょう。

「宇部市ってどんなところなのか？」

つまり、「宇部市の地域的特色」とは何でしょうか。また、何を調べれば「宇部市の地域的特色」を明らかにしたことになるのでしょうか。この本は、そうしたことに興味を持ってもらうために作られています。

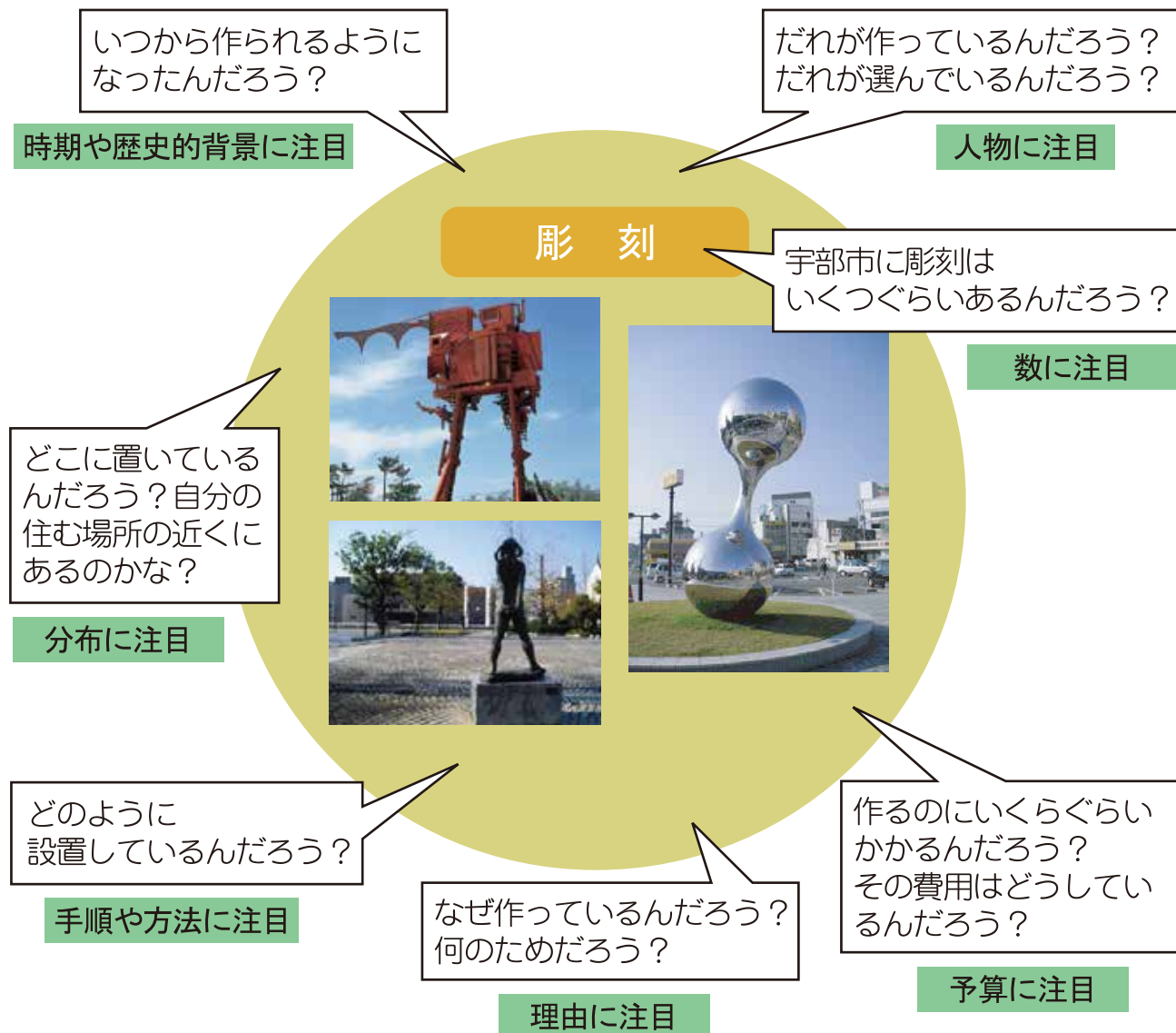


では、どんなことを調べるとよいのでしょうか。それは、あなたが何を知りたいのかによります。例えば、次のような方法が考えられます。



調べ方やまとめ方にはいろいろなものがあります。いろいろな方法を試してみて、その方法をつかんでほしいと思います。調べたり、まとめたり、発表したりするときには最も大事なものは「視点」、つまり、「何に注目したか」です。

例えば、宇部市の彫刻に注目したとすると、次のような疑問が思い浮かびます。



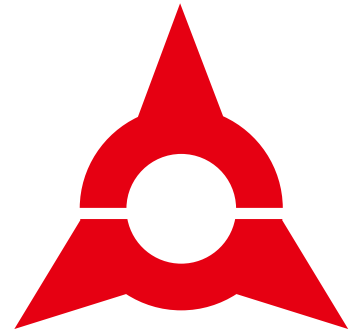
その中から、「彫刻はいつから作られるようになったんだろう？」に注目して調べ、その結果をまとめると「宇部市の彫刻の歴史」となるでしょう。地図にまとめることもできるし、年表も作ることができます。レポートにしてもよいでしょう。そこには、宇部のまちに彫刻を置いた人たちの考え、そのころの宇部市の様子、現在までの変化などが盛り込まれるでしょう。自分で調べて、自分でまとめることで、より幅広い知識を自分のものにすることができます。

(2) 宇部市の市章・市木・市花

まず、宇部市の市章は、右のようなデザインです。1922（大正11）年5月7日に制定されました。宇部の「ウへ」を上下に重ねて図案化したもので、1921（大正10）年11月1日、宇部市が誕生したときに一般の人たちから募集した作品です。

市木・市花は、下の通りです。

市章



市木 くすのき



市花 サルビア



市花 ツツジ



《「宇部市ホームページ」から》

1972（昭和47）年9月20日、一般公募をした結果、市木が「くすのき」、市花が「サルビア」に決まりました。その後、2004（平成16）年11月1日の楠町との合併により、町花の「ツツジ」も市花になりました。

(3) 市域の移り変わり

「宇部市」といっても時代によって範囲が異なります。最近では、楠町と合併して新たな宇部市がスタートしました。

	旧市域	1921(大正10)年11月1日市制施行
	藤山村	1931(昭和6)年8月1日合併
	厚南村	1941(昭和16)年10月20日合併
	西岐波村	1943(昭和18)年11月1日合併
	東岐波村・小野村・厚東村・二俣瀬村	1954(昭和29)年10月1日合併
	楠町	2004(平成16)年11月1日合併



このようにみえてみると、宇部市も時代とともに、変化しているわけです。